

平成30年度

自己評価公表シート

1、本園の教育目標

道伯幼稚園

幼稚園での集団生活の中で、生涯にわたる人間形成の基礎を学びながら、人間としての健全な発達を図り、大きな能力を身に付けることを目標として、知・徳・体と心身共に調和のとれた人格を育てていく。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育の質の向上に主体的に取り組んでいくことを重点目標とする。

3、本年度評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
①(教育課程・指導) 園の遊具・用具について各年齢の指導に応じて適切・有効な活用がなされているか。	各学年、昨年までの内容も参考にしながら、身近な遊具・用具を工夫しながら活用することができた。それぞれ、子ども達の成長の姿をとらえながら、教師も一緒に楽しむ事で、幼児が使い方や楽しさを知り、より活発に意欲的に自ら身体を動かせるよう指導に臨むことができた。
②(情報提供) 日常の健康管理や、疾病予防のための教職員の取組状況、健康診断の実施状況はどうか。	一年を通して、「手洗い・うがい」や、水分補給など、健康な生活に必要生活習慣を日常に定着させる取り組みができ、子ども達の意識も高まった。インフルエンザ流行の時期には、特に園全体での出欠の把握や園内の消毒・清潔、保護者との連携を図り、流行予防に努めることができた。また、体操・マラソン・ドッジボール・縄跳びなど、毎日の体力づくりに心がけたことで、寒い季節も元気に過ごすことができた。健康診断は、本年も漏れなく実施できた。
③(安全管理) 事故等の緊急事態発生時の対応の状況や、教職員・幼児の対応能力の向上を図るための取り組みはなされているか。	災害を想定した避難訓練では、回を重ねるごとに園児も教職員も、その対応や行動の在り方について意識が高まってきたと思われ、年少児でも素早く行動できるようになってきた。教職員は、色々な状況を予測して、さらに向上出来る様に努めていきたい。また、今後も、園内に危険な個所がないか、危険な遊び・行動はないか、日常的に意識を持ち続け、気を付けていきたい。
④(資質向上の取組) 教職員が、園の教育目標を理解し、それぞれに目標を設定し、自らの指導やサービスを振り返ることにより、資質の向上を図る。(個人)	教職員が、それぞれに自分の課題を見出し、指導や準備を工夫して実践しようとする姿勢が見られるようになってきた。また、一年間の自分を振り返り、反省する事で、次年度に向けて意欲を持って指導に携わろうとする心構えを持てるようになってきていると感じられる。